



【発行元】全国大学生協連関西西北陸ブロック

開催概要

日時：2019年10月19日(土) 10:00~17:00

場所：京都大学生協 吉田食堂

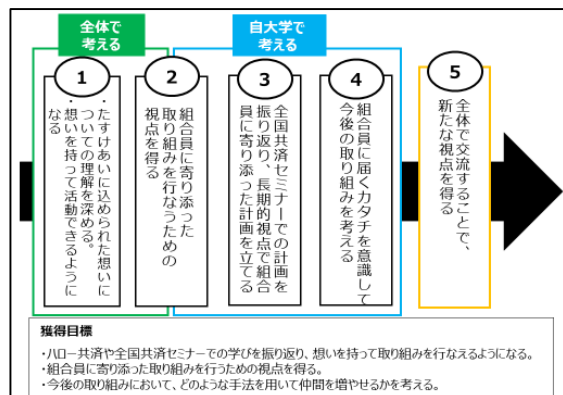
獲得目標

- ・ハロー共済や全国共済セミナーでの学びを振り返り、想いを持って取り組みを行なえるようになる。
- ・組合員に寄り添った取り組みを行うための視点を得る。
- ・今後の取り組みにおいて、どのような手法を用いて仲間を増やせるかを考える。

参加者（カッコ内は人数）

京都大(2)、同志社今出川(4)・京田辺(2)、立命館衣笠(11)・BKC(11)・OIC(20)、龍谷大深草(6)・瀬田(1)、京教大(3)、府医大(2)、京工繊(1)、奈良女(10)、奈教大(6)、奈良大(7)、滋科大(1)、連合会(15)、共済連(3)

計11会員87名+α ※下線は職員の参加あり



企画2の後半からは各生協ごとの時間！
各生協の組合員の現状をとらえ、
たすけあいの想いをカタチにしました！

XX 実態に即した取り組みを広げよう

京滋・奈良エリア共済推進委員会で作りました

今年度のエリア共済推進委員会は「組合員の実状に即した取り組みが行なえる大学生協を増やす」ことを目標に活動しています！このセミナーでは、ド直球にその目標に直結する内容を扱い、推進委員が各生協の学生委員に伝えたい想いをカタチにして届けました！

まずは推進委員がみなさんに想いを届け、そしてその想いを組合員みんなに広げていきましょう☆

01 活動する上での「たすけあいの想い」

企画1：共済の根っこに触れる時間

まずは全国共済セミナーでの学びの共有を行ない、「誰かに「もしも」があったらたすけたい」という想いをカタチにしたものが学生総合共済であり、私たちの活動であり、普段の行動で あとみんなで共通認識を持ちました！つまり、制度も活動も同じ想いからカタチになっているものなのです！

その上で【語り継ぐたすけあいの想い】を読み、参加者自身が取り組みを行なう上での想いを持ち、取り組みを考える準備をしました！



学生と職員と協力
することが大切！
共済の制度に加え
想いもしっかり
伝えていきたい！
(龍谷大12年生)

02 自分の大学の組合員について どのくらい知っていますか？

企画2：『今』の時間

みなさんは取り組みを行なう時、どのように現状分析をしていますか？セミナーの中では、「4年間の給付実績」「たすけあいアンケート」「学生生活実態調査」の3種類のデータから現状を導き出す練習をしました。特に「4年間の給付実績」からは、自大学の仲間がどのような事故や病気で学生総合共済の給付を受けているのかが分かり、組合員の現状を見つめ直すことにつながります！みなさんも自大学でやってみませんか？専務や職員さんに相談してみましょう☆



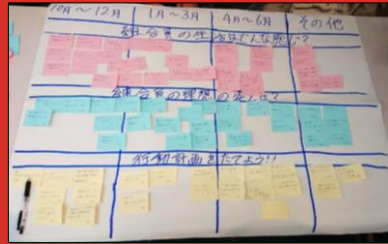
組合員に寄り添
った企画を行な
うことが大切！
(同志社1年生)
データを組み合
わせて読むと
新たな発見が！
(立命館1年生)

03 時期ごとの組合員の姿を想像 →私たちにできること

企画3：『これから』を考える時間

まずは全国共済セミナーの地域別のワークシートを用いて、全共セミでの学びを行動に移せているかを確認しました！その上で、企画2で行なった現状分析を基に、長期的目線(来年の6月まで)で【組合員の現状→組合員の理想の姿→そのために大学生協としてできること】を考えました。

みなさんの大学で取り組みを行なう際は、組合員の現状に寄り添った取り組み計画を立てましょう！



【組合員の現状
→組合員の理想
の姿→行動計画】
の流れで考える
ことが大事！
(京工繊 | 1年生)

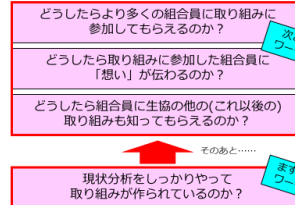
04 「組合員に届くカタチ」を 意識していますか？

企画4：活動に磨きをかける時間

みなさんの取り組みは「組合員に届くカタチ」ですか？

この時間では自大学の直近企画の企画書を持ち寄り、組合員の現状に寄り添った企画なのか、組合員に届く企画なのかを見直しました！ただ企画に参加してもらうだけでなく、「より多くの組合員の参加」「企画者の想いを参加者に伝えること」「次の企画にも参加してもらえるように」など組合員に届くカタチを意識して、さらに活動に磨きをかけましょう！

取り組みを「吟味」するで



学生委員会内で、なぜその企画を行なうのか共有し、組合員に想いを広げること
に繋げたい！
(奈良女 | 2年生)

05 自大学での学びを みんなの学びに

企画5：視野を広げる時間(まとめ)

全体のまとめのあと、企画2の後半から自大学ごとに行なっていた議論を全体で交流し合いました。同志社生協では、学生生活実態調査より1日の食費にかけられる金額と昼食利用に注目し、お昼に小鉢を取ることが難しい学生が多いという現状を見つけました。データを組み合わせて新たな現状を見つけ出せていたのがステキでした！

閉会式では、ブロック共済推進委員長の堂免専務から主に19制度で新たに加わった保障の給付状況の紹介がありました。



大学によって現状は異なるけど、大切にしたい想いは同じ!!
(奈良大 | 1年生)

私たちがどうしたいかではなく、組合員がどう受け取るのかを考えて企画を考えていきたい！ (龍谷大 | 2年生)



想いをカタチにすると、現状を正しく把握していないと組合員に想いが伝わらない！ (奈良大 | 1年生)

+A たすけあいの輪を広げるために 自大学みんなでガンバロー！

ガンバロー共済セミナーでの学びを共済月間に

今回扱った現状分析の手法はほんの一部だと思います。様々な手法で学生委員・職員さん一緒になって取り組みを見直してみよう！そして今回のセミナーでの計画を各生協で実践しましょう！実践することで初めて計画が活きてきます！

現在は共済月間の実施期間中です！組合員を巻き込みながら、様々なたすけあいを広げていきましょう！

月間ツールやTwitterでのハッシュタグも活用しましょう！ブロック共通ツールの自転車クリアファイルも各生協にお送りしています！ぜひ活用してください☆

新学期にもつながよう！

ハロー共済・全共セミ・ガンバロー共済での学びを最大限に活かしていきましょう☆新入生や保護者に届くカタチを意識して伝えましょう！

文責：ブロック学生事務局 [肥後 華織]

